

2025 年 10 月 9 日

医学系研究の実施に関するお知らせ

研究課題名	医原性（続発性）ラヌーラの実態調査	
研究責任者	歯学部・口腔外科学第一講座・講師・吉田 博昭	
1. 研究の対象	2017 年 4 月から 2025 年 4 月までの間に、大阪歯科大学口腔外科第一科を受診し、ラヌーラ（ガマ腫）と診断された患者様 150 名を対象とします。	
2. 研究目的	ラヌーラ（ガマ腫）は唾液腺（舌下腺、顎下腺）の導管が閉塞し、唾液排出障害が生じることで発症します。一般的に唾石（唾液中のカルシウムが結晶化したもの）によって導管が詰まることで発症しますが、導管近傍の外科的処置を行った際に偶発症として生じる可能性があります。しかし、これら処置後の偶発症としての医原性ラヌーラについての研究は進んでいません。 本研究は、臨床データを分析・検討することで、医原性ラヌーラの現状（発生原因、頻度、経過など）を把握し、今後の医原性ラヌーラ発生防止、治療等の一助とすることを目的とします。	
3. 研究方法	2017 年 4 月から 2025 年 4 月までに大阪歯科大学口腔外科第一科を受診し、ラヌーラ（ガマ腫）と診断された症例に関して、診療録（カルテ）より情報を収集し、分析を行います。	
4. 研究期間	2025 年 10 月 8 日から 2026 年 4 月 30 日	
5. 研究に利用する 試料・情報の種類	(1)試料	本研究で用いることはありません。
	(2)情報	年齢、性別、生年月日、画像データ、治療内容、経過等 なお、本研究で取得したこれらの情報を今後、この研究と同様の研究で使用することがあります。
6. お問い合わせ先	担当者	歯学部・口腔外科学第一講座・講師・吉田 博昭
	住 所	〒540-0008 大阪府中央区大手前 1 丁目 5 番 17 号 大阪歯科大学附属病院
	電 話	06-6910-1076

本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、上記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。